

2025
01.18

宿毛市事前復興まちづくり計画 第3回 中央地域ワークショップだより

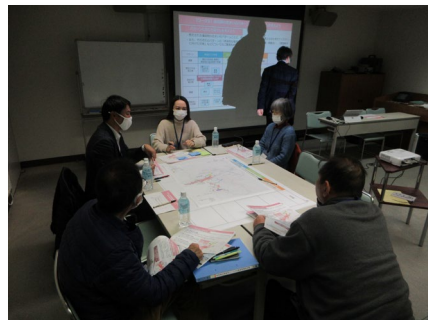
第3回 中央地域ワークショップを開催しました

令和7(2025)年1月18日(土)に第3回 中央地域ワークショップを開催しました。当日は、8名の方にご参加いただき、中央地域の事前復興まちづくりについて様々なご意見をいただきました。

ワークショップでは、「応急期の住まいのパターンに応じた暮らしを考えよう」、「復興期の住まいのパターンに応じた暮らしを考えよう」をテーマに、2班に分かれて意見を出し合いました。

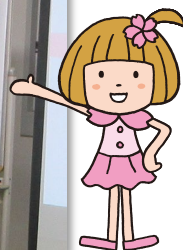
ワークショップ

各班に分かれて、活発な意見交換を実施しました。



発表

検討した内容について、それぞれ発表していただきました。



応急期の住まいのパターンに応じた暮らしを考えよう

パターン	地域内での 応急仮設住宅の生活	市内(他地域)での 応急仮設住宅の生活	市外での 応急仮設住宅の生活	自力で応急期の 住まいを確保	その他
概要	旧松田川小学校等での 応急仮設住宅	橋上や平田、山奈等の 公有地での応急仮設住宅	近隣市町村との連携 による応急仮設住宅	自力で 応急期の住まいを確保	
想定される 被災者	生活弱者の方	年齢 お年寄り、子ども ●病院が近くに ある必要がある ファミリー世帯	市内で働くことが できない方 元々市外で働いて いる方	自力で確保できる 人は応急～復興 は出ていく 保険に入られている方	
具体的な 場所等	おそらくない 旧松田川小	山奈 橋上 ※土地ではこ こしている 松田町 平田 二ノ宮 ※土地は平らだが、 浸水のおそれ 都賀ノ川	三原村 ※平地が少ない 四万十市 道路(経路)が多く ある場所 海から遠く、地 盤が強い場所 職場のある市町		
課題	適地ない 被災する場所が多 い 給食センターが 建設され、利用 できる面積が狭 くなる	民有地は、売買 に時間を要す 家族やコミュニ ティの維持がで きるのか? その地域にお住まいの方 とのバランス 現在、お住まい の方たちとのバ ランス 受け入れ側の意 見	市内で仕事が続 続できるか?		
課題解決に 向けた対策	民地の利用	空き家の活用 使える空き家の 調査(地区単位) 空き家の活用 どこの地区がど こに行くか決め ておく	各市町村との連 携を図る	老朽危険空き家	

復興期の住まいのパターンに応じた暮らしを考えよう

パターン	地域内での再建	市内(他地域)での再建	市外での再建	中央地域の宝
概要	現在の市街地・集落の 背後地の造成地等で再建	既存の地域や集落等への移転	市外で個人等での再建	生活に必要な機能 商店(スーパーなど) 公園 教育 医療・介護
想定される 被災者	住み慣れた場所 元々住んでいる 方		職場が市外	美しい自然(緑) きれいな水 宿毛市の歴史 今住んでいると ころが住みやす い 震災遺構(被災 した場所、後世 に伝えるため) おいしい魚の加 工業の店がある
具体的な 場所等	小規模でコンバ クトに移転 二ノ宮 和田 高台の造成・かさ上げ 高規格沿いに高 台の造成 さくらが丘の裏 造成 既成市街地(で きるのであれば) 松田町と一体と なった団地 現地(かさ上げ)	都賀ノ川 押ノ川 平田 宇須々木 山奈 橋上 インフラが整備 されている場所 早く復興が実現 できるのでは!?	職場がある場所	
課題	高齢化 高台の造成・かさ上げ お金 時間 土地の利用等に 合意が得られる のか? 交通手段の確保	利便性の問題 コミュニティの 維持		
課題解決に 向けた対策	生活利便性の確 保	公共交通 地域のまとめ役 を作る		